



優秀経営者

Excellent Management Manifestations

顕彰

受賞者一覧・インタビュー

2020年度

第 38 回



あなたにとって**経営**とは？

筆を通じ日本の伝統工芸を守っていくこと

会社の強みやこだわりは？

筆は、元々日本画、漆器や陶器の絵付け、人形など日本の伝統工芸品に合わせて作られてきました。ところが、昭和30-40年代の高度成長期になると効率が優先され、「何にでも使えるように」と、何百もの専門の筆が数十に集約されました。その結果、使える筆はなくなりました。会社を1974年(昭49)に興したのは、世界で最も繊細なこれら日本の伝統工芸品に相応しい絵筆をもう一度作るため。現在、わが社は化粧筆の印象が強いですが、今も絵筆の会社と思っています。伝統工芸品に相応しい筆を目指す取り組みが今は主流となり、専門分野で認められてきましたが、まだ満足していません。



高本和男社長による検品作業

今後会社をどう発展させたいですか？

自社の通販サイトや、百貨店による店舗展開を通じ、やれることはやってきました。ただ、筆は実際に肌や手に触れ、その感触を確かめた上で選んでもらうことが重要。そこで常設店舗を全国に広げ、展開できていない地域は、催事として出張し手に取ってもらえる機会を多く設け、ブランドの浸透を図ってきました。筆は長持ちし、何度も買い換えるようなものではなく、少しずつ徐々に売れていくものなので、これからもこういった店舗を通じた販売を中心に続けていきます。傘寿を迎えましたが、今も最終品を1本1本検品しています。元気の限り今後も筆作りを通じ、日本の伝統工芸を守っていきます。



白鳳堂フィニッシング用化粧筆S100

企業概要

設立	1974年8月
所在地	広島県安芸郡熊野町城之堀7丁目10番9号
事業内容	化粧筆、和筆(書道筆・面相筆・日本画筆等)、画筆(洋画筆・デザイン筆等)、工業用筆の製造・販売